

2023年度 一般社団法人 示現会
NO.9 (通算 NO46) 2023・12・4

事務局だより

事務所 ☎ 03-3824-9128

- 研究会のお誘い
- 会誌・日展の報告

裏面 ○<特集>巡回展報告・和歌山・徳島支部
成田理事長の記事

コロナ感染が未だ続く中、インフルエンザが流行、拡大ということです。11月の前半は異常な暑さで、夏日が観測される、ということもありました。なんとも落ち着かない今日この頃です。皆さん、健康には気を付けましょうね。師走に入るとすぐにお正月。おいしいお料理が待っています。よい年を迎えましょう。

12月の研究会 <第77回示現会展に向けて>

*実施日12月17日(日) 写真締め切り 12月11日(月)

研究会に参加 しましょう!

1月から始まった、示現会の研究会は12月で、今年は終了となりました。7回終了しましたが、合計約400人近くの方が参加いたしました。7月からは実施の方法を、「リモート」と「対面」を採用しました。「リモート」は写真を送ってもらい、それに対して講師の方の指導などを動画、また紙面で送り返しました。「対面」は写真を送ってもらい、その写真と同じですが、その写真の画像を映した会場で本人が画像の前で直接講師の指導などを受けました。

遠くの方はリモートで参加ください。また「対面」として、会場に来られる方は作品を持参せずに参加できますので、身軽に参加できる研究会です。ぜひみなさんの参加をお待ちします。



{対面}で行った研究会の様子。左側に座っている人の作品をプロジェクターで投影し、それに講師の先生が話をしているところ

会誌の発行

今年の会誌は係の手作り!



今年の「会誌」は係の手作りで行いました。係を得意の分野で分け、それぞれ自宅での作業を進めました。皆様から届いた原稿を分担してデータ化し、それをパソコンで編集、一冊にまとめていきます。特に大変だったのは、校正です。何度も見返しましたが、次から次に訂正箇所が出てきて、そのたびに紙面の構成も変わってきます。早めに原稿をお願いしたこともあり、何とか今回皆様にお届けすることが出来ました。会誌係りの皆さんに拍手ください。(担当理事・佐藤祐治)

- ◇ 役員の先生方には、ご多忙のところ、ご寄稿頂き誠に有難うございました。
 - ◇ 各支部の先生方はじめ、原稿をお寄せくださいました皆様にも大変感謝申し上げます。
 - ◇ 今年は写生会が実施されました。3年ぶりの写生会の様子をお知らせします。
 - ◇ 構成するにあたっては、担当理事佐藤祐治先生のもと作業を進めました。
 - ◇ 会誌の中に配置されているカットは、会誌係が描いたものです。
 - ◇ 会誌係一同、皆様からの原稿に感謝しながら誠心誠意編集させて頂きました。
- (会誌係班長 永江咲紀子)

12月の研究会は示現会展に向けて構図を主に見ます。詳しくは、「2024年 研究会案内」をご覧ください。

1月のリモート研究会

*実施日 1月14日(日) 写真締め切り 1月8日(月)

2月のリモート研究会

*実施日 2月18日(日) 写真締め切り 2月12日

日展報告

44名入選・新入選は3名

11月3日から始まった日展は11月26日をもって終了しました。示現会からは44名の入選がありました。そのうち3名が新入選を果たしました。会期中は天候にも恵まれ連日大勢の鑑賞者が訪れました。なお示現会からは佐藤祐治常務理事が審査員として任命され審査にあたりました。

新入選者

・本田章子 神奈川県 一般
・吉田留美 神奈川県 会友
・若井茂雄 新潟県 準会員

44名の入選者の氏名は会誌に掲載されています。



特集1

巡回展報告

巡回展の報告です。
六本木で開催される展覧会は地域にとって文化の香りのするイベントでもあります。支部員の素晴らしい作品がさらに地域を盛り上げます。

和歌山展 公募展も開催

初出品初入選
おめでとうございます。

・展示④ 示現会巡回展・併設展



6月7日(水)～12日(月)、県民文化会館全展示室。具象絵画を追求する団体、示現会の和歌山巡回展。4月に東京で開かれた全国展で新人奨励賞を受賞した岸田祐樹さんの「波紋」(写真)

はじめ、全国展選抜作品60点と、県内の会員の作品23点を展示。併設展として一般から寄せられた作品が並ぶ仲間たち展と和歌山支部会員展を同会場で開く。午前9時半～午後5時(最終日3時)。土井さん(073・431・5446)。



を楽しみにしていますと、言っておられる方も大勢おられ、徐々に戻りつつあるように感じます。巡回展の様子には、地元テレビ局で放映されました。同時に公募展としての「仲間たち展」も開催されました。

前日には、井上 武先生をお迎えして、展示からひとりひとりの作品の講評など、懇切丁寧なご指導を頂きました。

入場者数は、コロナ禍前には及びませんが、それでも毎年巡回展の作品鑑賞

最近の新たな取り組みとして、昨年より会員の親睦も兼ね、月に一度例会を開催することになりました。全ての会員ではありませんが、近隣の地域から毎回出席があり、互いに作品についての意見の交換など行っています。また、当支部では、会員の減少に悩んでいます。仲間を増やすべく、日々活動して参りたいと思います。

和歌山支部
会計 辻本 渡

テレビのニュース で放映される

徳島展



第76回示現会巡回展徳島展は、6月16日(金)から20日(火)まであわぎんホール(徳島県郷土文化会館)開催しました。

本部より理事長成田禎介先生が来徳され、展示指導また展示後支部会員一人一人の作品について丁寧な指導をいただきました。研究会を兼ねた準備日となりました。

まだコロナ感染症を意識し注意を払う開催となりましたが、地元新聞社やテレビ局の取材もあつて、ニュースで放送される等、大きな開催周知につながりました。

取材中丁度居合わせた成田先生が取材に応じてくださり示現会のことや、展覧会のことについてよりよく伝えることができました。

期間中、この時期珍しく雨のない天候に恵まれ、連日入場者の途切れない展覧会となり、期間中1200名を超える入場者がありました。

併設の公募、支部との交流展においては、開催の初日に出品の皆さんにお集まりいただき、こちらも、展示指導に

テレビで紹介された徳島展



特集2

成田理事長の
記事が地元の
三誌に掲載
されました。

人物風土記

題字は
本村賢太郎市長

〇：画家や彫刻家など約40人の芸術家が集う「相模原芸術家協会」を1991年の創立以来、毎年9月に大きな展覧会を開催しているほか、子どもたちや希望者への絵画の指導も行う。10年以上にわたり副会長を務め、今年4月に会長に就任した。「(会員同士は)みんな平等な仲間。会長だからといって特別なことは無い」と微笑む一方、「責任者として人との関係づくりをしっかりとやっていく」と気を引き締める。

〇：東京で生まれ育った。幼いころから絵が好き。



この春、相模原芸術家協会の会長に就任した

成田 禎介さん

南区在住 84歳

「絵画は心の食べ物」

とへ通い、絵を学ぶ日々を過ごした。32歳でフジテレビヤリで初の個展を開催し、画家として本格的なスタートを切った。以降、日本橋三越本店や大阪高島屋など各地で個展を開き、多くの作品を披露してきた。

〇：描くのは自然豊かな材料で、もっと違うものを描きたい。今後は、これまで描いた風景をもう一度今の視線で表現することに取り組んでいく。また「これからは、多くの人に絵を見てもらうという画家の使命を果たしていく」と意気込む。「目には見えないけれど、安らげたり楽しめたりする『心の食べ物』が大事。その役目が絵にはあると思う」と、穏やかな笑顔を見せた。

地域の楽しい
ニュースを募集
しています。

皆様からのニュースは下記へどうぞ
メール先 佐藤祐治宛
sato_y_n@d6.dion.ne.jp